

高校生と企業が一堂に会し情報交換 仙南地域ものづくり企業説明会

9月11日、ホワイトキューブ（白石市）で「仙南地域ものづくり企業説明会」が行われた。

同説明会は、仙南地域の高校生に対して、地元のものづくり企業の事業や技術について理解を深め、ものづくりの素晴らしさややりがいや伝えることが目的。8回目の開催となった今回は、仙南地域の工業・農業系高校に加え、普通高校からも生徒が参加した。

この日会場に集まった404人の生徒は、仙南地域のものづくり企業46社のブースを訪れ、実際に製品に触れたり、工場の様子を動画で見たりして各企業の担当者の説明を聞いた。

参加した生徒は、「自分の知らなかった地元の企業を知ることができました」「社員の方に質問したら、すぐに答えが返ってきたのですごいと思いました」と感想を話した。

また、情報交換会の前には、東北特殊鋼株式会社の本博行取締役が、「これからのものづくり」が目

地元企業と高校生が科学やものづくりの魅力伝える 第5回サイエンスプラス

9月29日、東北職業能力開発大学校（栗原市）で「サイエンスプラス」が行われた。5回目の開催となった今回は、小中学生と保護者163人が参加。地元企



社員の手ほどきを受けながら、世界に一つだけのランタンを制作した



迫桜高校の生徒が、測量機を使って紙飛行機の飛距離を測定した



各ブースでは、企業担当者が製品や事業内容について熱く語った



生徒は3カ所の企業ブースを訪問し説明を聞いた

業や高校生、同大学校などが企画した22のプログラムを体験し、ものづくりや実験などを楽しみながら科学や技術の魅力に触れた。株式会社若柳タムラ製作所



ゴム動力のヘリコプター模型の製作を通して、飛行する原理を学んだ

（栗原市）のブースでは、「手作りランタン」と「マイラジオ」の製作が行われた。手作りランタンづくりでは、ソーラー充電器で発電した電気によって暗くなると自



インターンシップの報告をするモンゴルの高専生の2人



株式会社GESでは、実際に産業用ロボットの制御を体験した

モンゴルの高専生が インターンシップの成果を発表 仙台高専×モンゴル高専連携事業

10月4日に仙台高等専門学校（仙台市・名取市）で、モンゴルの高専生2人が長期インターンシップの報告を行った。学生は、同校の企業協力会（仙台高専産学連携振興会）の一社、株式会社GES（利府町）で産業用ロボットの制御プログラムの組立や等の一カ月間の実習を行った。

「日本の技術や企業について学び、モンゴルとの違いを知りたかった」と話す新モンゴル高等専門学校の学生は、「産業用ロボットを動かしてみても、自由に動かすことができたり、自動で動かすことができたりして日本のロボットの技術は素晴らしいと思いました」と感想を話した。

また、モンゴル国立科学技術大学附属高等専門学校の高専生は、「高専卒業後は、

生産性向上のためのIT活用の現状と ものづくりマイスターに係わる 好事例発表及び意見交換会

11月13日、仙台国際センター（仙台市）で「生産性向上のためのIT活用の現状とものづくりマイスターに係わる好事例発表及び意見交換会」が行われた。

同イベントは宮城県技能振興コーナー（仙台市）が主催。好事例発表では、株式会社青木製作所宮城工場（白石市）の古山茂和取締役副工場長と株式会社コー・ワークス（仙台市）の白田正樹CTOが、それぞれ「ものづくりマイスターを活用した人材育成」「生産性向上のためのIT活用の現状について」をテーマに自社の取組を紹介した。



事例発表する白田CTO（左）と古山取締役副工場長（右）



パネラーと会場の参加者で活発な意見が交わされた

古山副工場長はものづくりマイスター制度を活用した技能五輪選手の育成について紹介。「2年間マイスターに指導いただきながら技能五輪に挑戦したことで、社員は技術的にも人間的にも大きく成長することができた。若手技能者の育成には、技能検定や技能五輪の挑戦が必要だと強く感じました」と話した。

その後、学校や企業で人材育成に取り組む5人をパネラーに迎え、技能伝承とITの活用について意見交換が行われた。

コメンテーターを務めた公益財団法人みやぎ産業振興機構（仙台市）シニアアドバイザーの白幡洋一氏は、「若い技能者の育成や生産性向上のためのITの有効活用には、時間もコストもかかる。企業トップのぶれない思いと支援が求められる」と述べた。



技能五輪選手を代表して決意表明をする萱場選手



アピリンピック選手を代表して決意表明をする佐藤選手

技能五輪・アピリンピックでの活躍 宮城県選手団結団式

若者の技能レベル日本一を競う、第56回技能五輪全国大会と第38回全国障害者技能競技大会（アピリンピック）に出場する県選手団の結団式が10月24日、宮

城県庁で行われた。技能五輪では、配管や電気など9職種の種類に15人が参加。選手を代表して、フラワー装飾職種に出場する有限会社フラワード（仙台市）の萱場麻生選手が、「日頃培った技能を十分に発揮できるように、精一杯頑張ります」と宣誓した。また、アピリンピックでは喫茶サービスやオフィス



それぞれの大会に出場する選手代表が宮城県旗を受け取った

アシスタントなど7職種の種類に7人が参加。パソコンデータ入力職種に出場する宮城県立支援学校小牛田高等学園（美里町）の佐藤源太選手が「県代表の誇りを胸にベストを尽くします」と述べた。

河端副知事は、「自分の可能性を信じ、失敗を恐れずチャレンジし、持てる力を発揮してほしいと思っています」とエールを送った。両大会は沖縄県を会場に、11月2～5日の日程で行われた。

ぜひ参加ください！ 「これからのイベント開催情報」

- 新規大卒者向け「業界研究セミナー」

2020年3月に大学院・大学・短大・高専・専門学校・公共職業能力開発施設を卒業する予定の方（既卒3年以内の方を含む）を対象とした業界研究セミナーを実施します。

IT・卸売・介護・福祉・金融・ものづくりなど、各業界の関係者から、業界の現状や展望、仕事のやりがいなどを学ぶことができます。また、「2019年企業の採用動向と自分に合った企業の見つけ方」と題した講演も行われます。

会場では、就職活動の悩みや疑問について相談ができる「個別カウンセリングコーナー」や、仙台新卒応援ハローワークの「就職支援・登録ブース」が設置されます。服装は自由で、参加無料。事前の申し込みは不要。

【開催予定日】

日時/12月25日（火）

■第一部 講演 13時～14時

■第二部 各業界との交流タイム 14時10分～16時

（30分×3回）

場所/AER 5階・仙台市中小企業活性化センター多目的ホール

主催/宮城県、宮城労働局（仙台）

新卒応援ハローワーク・ハローワーク、仙台市

問 / 022-1214-11007

（仙台市経済局地域産業支援課）
- 第17回東北ポリテックビジョン

東北職業能力開発大学校、付属青森校、付属秋田校および県立短期大学校などが参加して、「ものづくり教育訓練」の成果などの発表、展示、講演などを実施します。

【開催予定日】

日時/2月22日（金）9時30分～17時

23日（土）9時～14時

場所/東北職業能力開発大学校

※詳細は決まり次第、ホームページで告知します。

問 / 0228-1221-2082

http://www3.jeed.or.jp/miyagi/college/